

散策で見つけた物を紙に描く子どもたち



冬の里山散策楽しい

小学4～6年生を対象にした「呉羽丘陵たんけん隊」が14日、富山市の呉羽丘陵で開かれ、児童14人が冬の里山散策を楽しんだ。北日本新聞社後援。

児童は3グループに分かれ、スノーシューで呉羽丘陵を歩いた。朽ち木を割って冬眠している生物を探したり、気になったものをタブレット端末で撮影したりし、自然に親しんだ。これは山荘保養館（同市西金屋）では、散策で見つけたウサギの足跡や新芽などを紙に描き、グループごとに発表

体験で探求心育む

呉羽丘陵たんけん隊

した。ビニールひもで野生動物の足跡を再現し、何の動物か当てるゲームなどもあった。

たんけん隊は自然体験を通じて、子どもたちに探求心などを育んでもらおうと、NPO法人さんたろう倶楽部（鏡森定信理事長）が季節ごとに、開催してきた。

呉羽丘陵にある同市ファミリーパーク（同市古沢）では、バレンタインイベントが行われ、来場者がヒツジにケーキ型の餌を贈った。